

「eコミュニティ・プラットフォーム」

e-community platform ご利用ガイド

2009 年 12 月 1 日版

「eコミュニティ・プラットフォーム」を使うと
どんなことができるのかをご紹介しています。

1. 誰もが気軽にインターネットで情報発信することができます。
2. 地域の様々な人を交えてスケールの大きな意見交換・情報共有ができ、問題を一緒に考えることができます。
3. ネットのメリットを最大限に活かして、いつでもどこからでもコミュニケーションすることができ、様々な取り組みや思いを変わらない形で伝えたり、残すことができます。

NIED 独立行政法人 防災科学技術研究所
災害リスク情報プラットフォーム研究プロジェクト
BOSAI-DRIP

はじめに

「ｅコミュニティ・プラットフォーム」は、人と人をつなぎます。

人と人とがつながるきっかけをつくり、
それを深め、それをさらに拡げる場所を提供します。

まわりの人たちがどんなことを考え、
どんなことを喜び、
どんなことで困っているのか
見えやすくしたり、学びやすくします。

人と人が一緒に何かを始めるきっかけをつくり、
さらにそれを大きく育てる様々なお手伝いをします。

「ｅコミュニティ・プラットフォーム」は、
地域の住民の方々やコミュニティが
思うままに意見や情報をやりとりしながら、
自分達が抱えている問題に気付いたり、
その問題を解決するヒントや方策を見つけ、
自ら実際に解決に向けた第一歩を踏み出すのを
お手伝いします。

安心・安全や子育て、まちづくりといった
いま地域が直面している様々な悩み事を良い方向に向かわせ、
未来を変えていくための可能性と力を秘めています。

NIED National Research Institute for Earth Science and Disaster Prevention
独立行政法人 防災科学技術研究所
災害リスク情報プラットフォーム 研究プロジェクト
BOSAI-DRIP

CONTENTS

Section 0

「eコミュニティ・プラットフォーム」ってどんなことができるの？ 4

1.「eコミュニティ・プラットフォーム」を使うとこんなメリットがあります！ …… 4
2. ツールを使ってできること …… 5

Section 1

「eコミュニティ・プラットフォーム」の特徴 6

1.「eコミュニティ・プラットフォーム」の特徴 …… 6
2. マイページやポータルページの開設 …… 7

Section 2

「ブログ機能」を使って情報・ニュースの発信 8

1.「ブログ機能」の利用方法 …… 8
2. 多彩なブログ画面表示方法 …… 9
3. RSS 配信 …… 9

Section 3

「マップ機能」を使って地図上に情報を載せる 10

1. ブログ記事に地図を添付 …… 10
2. さまざまな表示方法 …… 10
3.「線」「面」を利用した表示方法 …… 11
4. マップの表示例 …… 11

Section 4

「掲示板」を使って議論や意見交換の場に 12

Section 5

「カレンダー」機能を使ってイベントの告知 13

Section 6

「RSS」機能を使って最新情報の受信・配信 14

1. 最新情報の受信・発信 …… 14
2. 最新情報の配信 …… 15

Section 7

その他の機能 16

1. メッセージ配信機能 …… 16
2. スキン変更機能 …… 16

Section 0 「eコミュニティ・プラットフォーム」ってどんなことができるの？

「eコミュニティ・プラットフォーム」を利用すると、地域の様々な住民や団体の方々が簡単に自分たちのページを作って情報発信や意見交換をしたり、議論や検討、相談やアドバイスを行なうことができるようになり、お互いが持っている知恵や力を地域みんなのために生かすことができるようになります。

1 「eコミュニティ・プラットフォーム」を使うとこんなメリットがあります！

「eコミュニティ・プラットフォーム」は、個人のブログや日記風つぶやきから、地域コミュニティの情報発信・共有のためのポータルサイト構築まで、ネット上での様々なコミュニケーションをしっかりサポートします。
「eコミュニティ・プラットフォーム」をご利用いただくと、例えば以下のようなことが可能になります。

誰もが気軽にインターネットで情報発信できます

「eコミュニティ・プラットフォーム」ではワープロ感覚で簡単にホームページを作成できるので、個人や団体が思うままに情報発信することが可能です。
ページのデザインやレイアウトも画面上で直感的に操作して作成、変更できるので、従来と比べてはるかに多くの参加者から生の声を集めて、より多彩でより生き生きとしたコミュニケーションの場を作り出すことができます。

地域の様々な人を交えてスケールの大きな意見交換・情報共有ができ、問題を一緒に考えることができます

地域のどなたでも参加できるので、大勢で意見交換したり、いろんな意見を集約したり、みんなで情報共有したりできます。
参加者全員が平等に発言しあいながら、これまでは取り上げられなかったり、見逃されがちだった新しい発見や課題を共有し、活用法や解決策を一緒に考えるといったことが可能になります。
個々の小さな知恵のかけらを地域全体の大きな財産に育てることができます。
お互いが見守ったり、話し合ったり、実際に一緒に活動したりしながら、毎日の生活や地域社会を豊かで安心・安全なものにしていくことができます。

ネットのメリットを最大限に活かしていつでもどこからでもコミュニケーションすることができ、様々な取り組みや思いを変わらない形で伝えたり、残すことができます

ネットの上のページやサイトで情報発信・共有することにより、時間や場所に関係なくコミュニケーションに参加できるので、今まで物理的な制約等で十分にできなかった相談や検討、議論等がどんどんできるようになります。
サイトが存在し続ける限り、過去の経緯やいきさつ、貴重な体験や教訓まで丁寧にひとつひとつさかのぼって確かめたり、どこかの誰かが頑張って努力した取り組みやその時の思いをいつまでもそのままの形で共有・継承することができます。

2 ツールを使ってできること

「ｅコミュニティ・プラットフォーム」には、以下のような様々な使い勝手の良いツール（道具）が用意されています。
（ご紹介しているのはあくまでもほんの一例です）

ブログによる情報発信



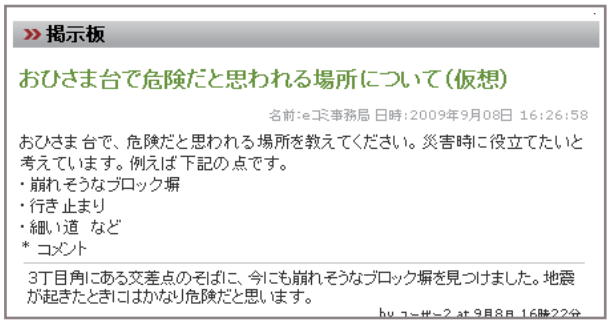
ブログ機能を利用して、情報を発信していきましょう。ブログとは、日々更新される日記的なWebサイトの総称です。さまざまなニュースや情報発信の場としてご利用ください。 P8

地図を使った情報共有



マップ機能では、「アイコン」「線」「面」による記載ができます。通学路を「線」で示したり、火災範囲を「面」で示すことができます。身近な情報から、防災にいたるまでさまざまな用途にお使いください。 P10

意見交換や議論の場として利用



掲示板を使って、議論の場や、意見交換の場としてご利用ください。例えば、「街灯の少ない場所を教えてください」とよびかけると、地域の人々から様々な情報・助言が得られるかもしれません。 P12

イベント告知の場として利用



カレンダー機能を使って、イベント告知をすることができます。告知した内容にコメントをもらうこともできますので、コミュニケーションの場としても利用することができます。

P13

最新情報の受信・配信



RSS機能を使って、各Webサイトから最新情報を集めて表示することができます。
また、自分たちの発信した情報（ブログ）をRSS機能を利用して配信することが可能です。受信した人は、更新されたことを知ることができるので、ページを見に来てくれるかもしれません。

P14

その他の機能



その他の機能としては、メッセージ配信・メール転送機能や、スキン変更機能などがあります。

P16

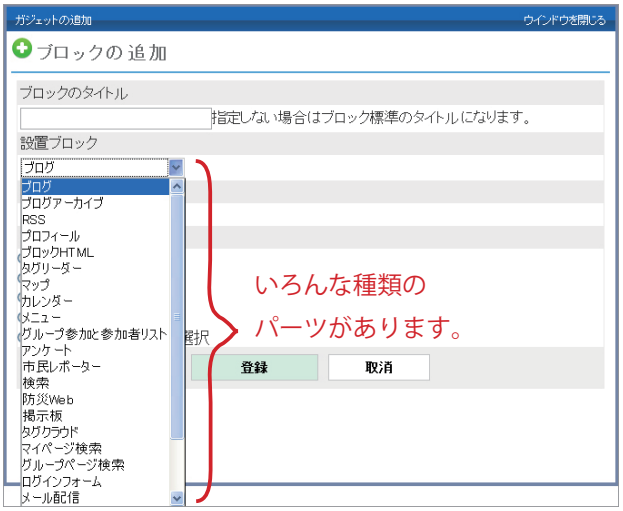
Section 1 「eコミュニティ・プラットフォーム」の特徴

「eコミュニティ・プラットフォーム」は、いろんな機能を持った複数のパーツが集まってページが構成されています。パーツの追加・変更はもちろん、レイアウトの変更もとても簡単です。地域ポータルサイトの設置も簡単にできます。

1 「eコミュニティ・プラットフォーム」の特徴

「eコミュニティ・プラットフォーム」は、複数のパーツが集まってページが構成されています。
パーツのタイトルをドラッグするだけでレイアウトを変更することができます。また、さまざまなパーツが用意されていますので、必要に応じたパーツを追加していくことでより用途に適したページを作っていくことができます。





Column パーツとは？

ホームページ上に自由に配置して、さまざまな機能を使えるようにする「部品」のようなもので、実はそのひとつひとつが、Web ページ上で動く小規模なアプリケーションになっています。

eコミュニティ・プラットフォームでは、ブログを書くための「ブログ」パーツや、みんなで意見交換を行うための「掲示板」パーツといった、機能や目的ごとにいろいろな種類のパーツが用意されており、利用者が必要なものを選んで使っていただくことができます。

2 マイページやポータルページの開設

マイページやポータルページの開設は、わずか３ステップ！

1 ユーザー登録 → 2 ログイン → 3 マイページ開設

マイページ（ポータルページ）を開設したら、パーツの追加・削除・移動機能を利用して、ページをどんどんカスタマイズしていきましょう。



Section 2 「ブログ機能」を使って情報・ニュースの発信

ブログ機能を利用して、情報を発信していきましょう。ブログとは、日々更新される日記的な Web サイトの総称です。さまざまなニュースや情報発信の場としてご利用ください。

1 「ブログ機能」の利用方法

ブログ機能を利用して、情報やニュースを発信していきましょう。例えば、「地域のニュース」「地域のイベント情報」「地場野菜」「レストラン情報」などなど・・・情報が増えるとさらに魅力的なページになって、見に来てくれる人も増えていきます。簡単かつ手軽に発信することができるので、日々の情報コンテンツの公開に役立ちます。

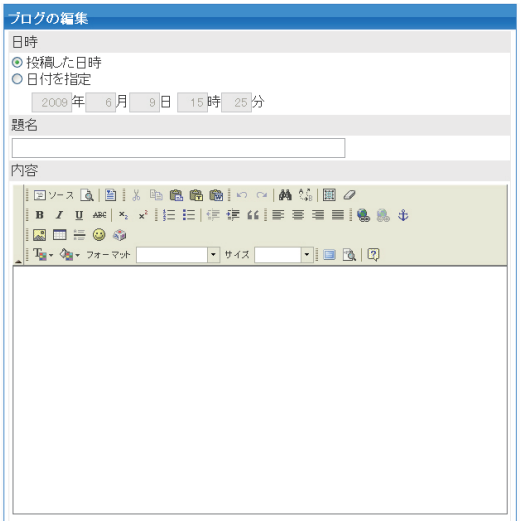


「ブログ」と「カテゴリ」

記事が増えると、「カテゴリ」の件数が増えていき、情報量の多い魅力的なページになっていきます。

他のサイトの記事との連携機能 (トラックバック)、コメント機能などを備えているため、双方向のコミュニケーションが起こりやすくなります。

携帯電話からの投稿も可能です。



ブログエディタ

ブログを書く際に使う、ブログエディタ画面です。

一般的なワープロソフトと同じアイコンを使っていますので、操作方法が分かりやすくなっています。

2 多彩なブログ画面表示方法

ブログの表示方法は 3 通りあります。「全文を表示」「本文を省略して表示」「タイトルだけ表示」から選ぶことができます。ページに適した方法を選ぶことで、より見栄えのいいページになります。







全文を表示

写真つきですべての文章を表示します。情報を一番ダイレクトに伝えることができますが、ページの面積をたくさん使います。ブログサイトにおすすめの表示方法です。

本文を省略して表示

本文を省略して表示するので、概要を伝えることができます。先を読みたくなった読者は「続きを読む」をクリックすると読むことができます。ページの面積はあまり使いませんが、続きを読むためにはクリックしないと読めません。

タイトルだけを表示

内容を読むには、タイトルをクリックします。タイトルだけなので、クリックしないと内容が伝わらないということはありますが、ページ面積を最小に抑えることができるというメリットがあります。ポータルサイトにおすすめです。

このように表示方法には 3 通りありますので、自分のページに最適な方法で表示することができます。
表示方法を変更したくなったら、簡単な方法ですぐに表示を切り替えることができます。

3 RSS 配信

ブログで情報発信すると、RSS 機能により最新情報を配信することができます。詳しくは、P15 をご覧ください。

Section 3 「マップ機能」を使って地図上に情報を載せる

マップ機能を利用して、位置情報を載せることはもちろん、「線」機能を利用して、通学路や避難経路などを記載することが可能です。「面」機能を利用すれば、例えば学区の範囲や、火事が起こった範囲を示すこともできます。地域のさまざまな対策の立案・検討にもご利用ください。

1 ブログ記事に地図を添付

ブログにマップを添付することができます。また、マップに表示できるアイコンの種類も豊富に取りそろえています。用途に適したアイコンをご利用ください。





豊富なアイコン

ブログに載せる情報に一番適したアイコンを利用することで、視覚的にイメージを伝えることが可能です。例えばレストラン情報だったら「ナイフとフォーク」のアイコン、駅の情報だったら「電車」のアイコンなどが良いかもしれません。

2 さまざまな表示方法

Google マップをはじめとして様々な地図を利用することができます。「航空写真」「地図＋写真」「地形」「数値地図」などで見ることができます。そのほか、国際標準形式でインターネット上に配信されている地図を表示することができます。











3 「線」「面」を利用した表示方法

「線」機能を利用して、駅からの道順や避難経路などを記載することが可能です。
「面」機能を利用すれば、火事が起こった範囲や、地域のゴミ拾いをする範囲などを示すこともできます。
地域の防災対策のほか、さまざまな用途にお使いください。



「線機能」の利用方法

例）・駅からの道順
・通学路
・避難経路



「面機能」の利用方法

例）・地域のゴミ拾いの範囲
・学校区の範囲
・火災の起こった範囲

4 マップの表示例

ブログ投稿した際に添付した地図情報を、合わせて表示することができます。これを「マップパーツ」といいます。
載せた情報の位置関係をいっぺんに見たいときや、地図の情報からブログの情報を探したいときにも便利です。



マップパーツ

ブログ投稿した際に添付した地図情報を、このように集約して表示することができます。下部に記載されたタイトルをクリックすることで概要を読むことができます。詳しくは右図参照。



「地図」と「ブログ」の連動

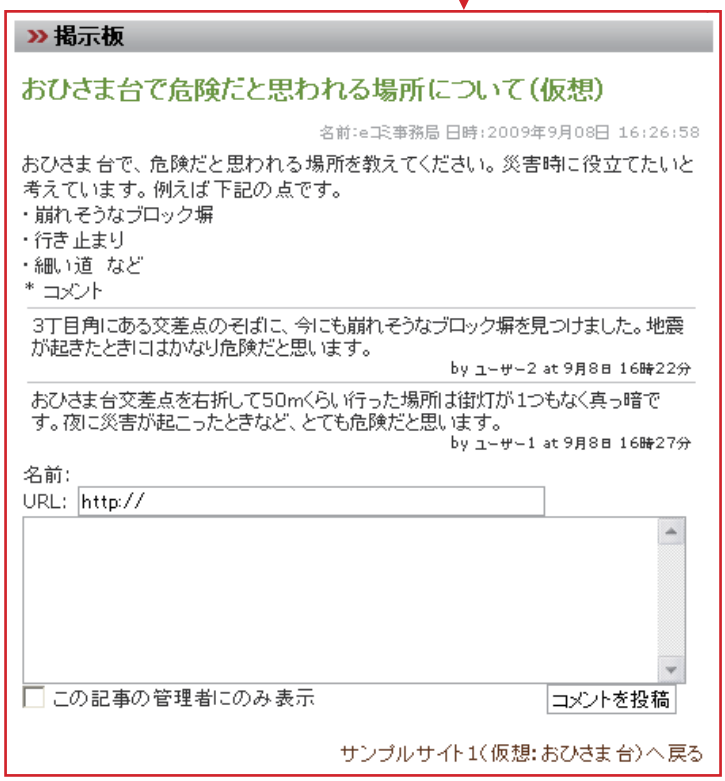
①をクリックすると、該当箇所が拡大表示され、「タイトル」と「省略表示された本文」が表示されます。「もっと読む」をクリックすると、この地図を記載した該当ブログ記事にとびます。地図とブログが連動しています。

Section 4

「掲示板」を使って議論や意見交換の場に

掲示板を使って、議論の場や意見交換の場としてご利用いただけます。例えば、「街灯の少ない場所を教えてください」とよびかけると、地域の人々からさまざまな情報を得ることができるかもしれません。





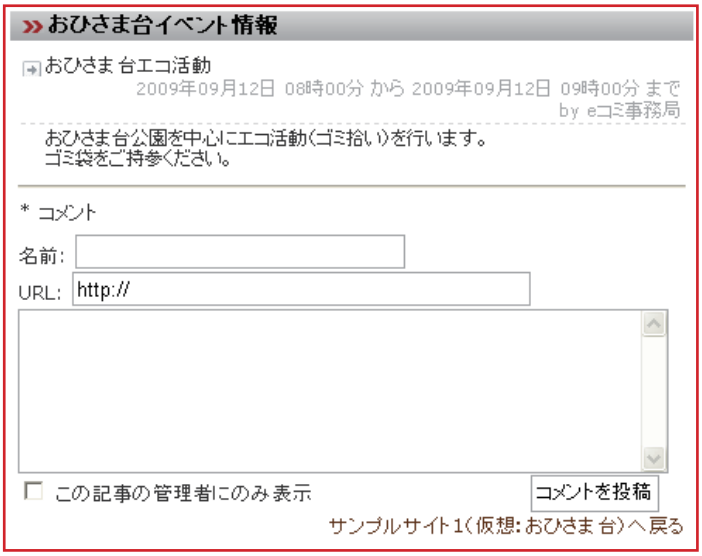
掲示板の利用方法例

- 地域コミュニティの議論、情報収集の場
- サークル活動の親睦・交流の場
- PTA での意見聴取・意見交換の場

Section 5 「カレンダー」機能を使ってイベントの告知

カレンダー機能を使って、イベント告知をすることができます。告知した内容にコメントをもらうこともできますので、コミュニケーションの場としても利用することができます。





カレンダーに予定やイベント情報を登録していくことができます。

「1 週間以内の予定」は、テキスト表示されます。テキストをクリックすると、詳細が表示されます。このイベントに対するコメントを投稿することもできます。

Section 6 「RSS」機能を使って最新情報の受信・配信

RSS 機能を使って、各 Web サイトから最新情報を集めて表示することができます。
また、自分たちの発信した情報（ブログ）を RSS 機能を利用して配信することが可能です。
RSS を受信した人は、あなたのブログが更新されたことを知ることができるので、ページを見に来てくれる人が増えるかもしれません。

1 最新情報の受信・発信

最近は、RSS で最新情報を配信している Web サイトが多くなりました。RSS 機能を使うと、最新情報を受信して、それを自分のサイトで発信することができます。



1 RSS 情報の受信 → 2 RSS 情報の発信

「サンプルサイト 2」と「サンプルサイト 3」では「ブログ」を RSS 配信しています。それを自分のページ（ここでは「サンプルサイト 1」）で受信することにより、「サンプルサイト 2」と「サンプルサイト 3」のブログの新着情報を載せることができます。

2 最新情報の配信

RSS の受信・発信機能だけでなく、配信機能もついています。ブログ機能を使って、ニュースや情報をアップすると、自分のサイトを RSS リーダーに登録してくれている人ならその記事を読んでくれる確率が高まります。



RSS 配信

「RSS 配信マーク」をクリックすると RSS 用のアドレスにとびます。
RSS リーダーを持っている人や発信用のツールを持っている人はこのアドレスを入力するだけで受信したり、発信したりすることができます。

Column　RSS とは？

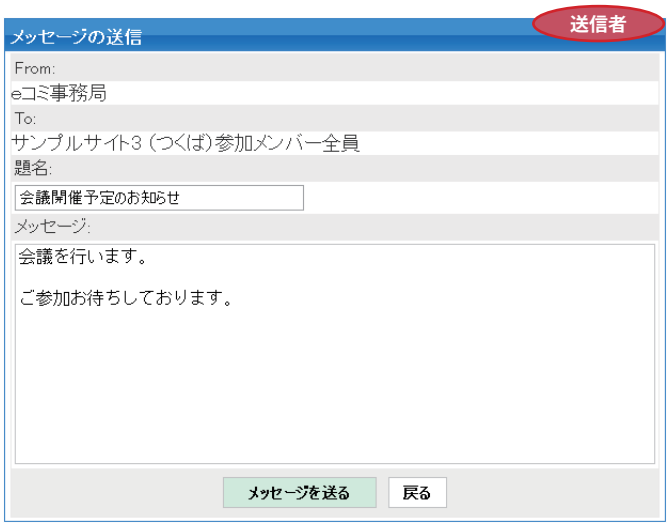
RSS とは、サイトの概要を記述するための形式で、ニュースサイトや、ブログ（日記）などで使われています。RSS で記述された文書には、Web サイトの各ページのタイトル、アドレス、見出し、要約、更新時刻などを記述することができます。RSS 文書を用いることで、多数の Web サイトの更新情報を統一的な方法で効率的に収集・把握することができます。
RSS 配信すると、他のサイトで受信・発信してくれることもあり、他サイトの読者が RSS 情報を通じて自分のサイトを見に来てくれるようになることも期待できます。つまり RSS 機能は、アクセスアップにとっても重要なツールとなっています。
また RSS 機能は、SEO（「サーチエンジン最適化」の略で検索サービスでリストの上位に表示されるようにするための対策のことです）対策としても非常に有効なツールだと言われています。

Section 7 その他の機能

そのほかにも、メッセージ配信機能や、スキン変更機能などがあります。

1 メッセージ配信機能

メッセージ配信機能を使うと、同じグループ内の人にいっせいにメッセージを送ることができます。

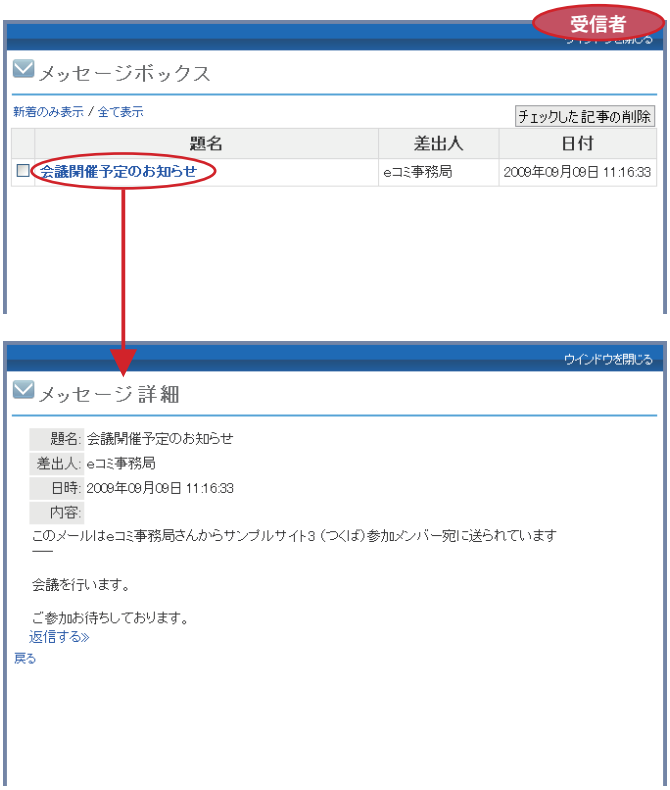


メッセージの送受信

eコミュニティ・プラットフォームにグループ参加している人全員にいっせいにメッセージ配信することができます。

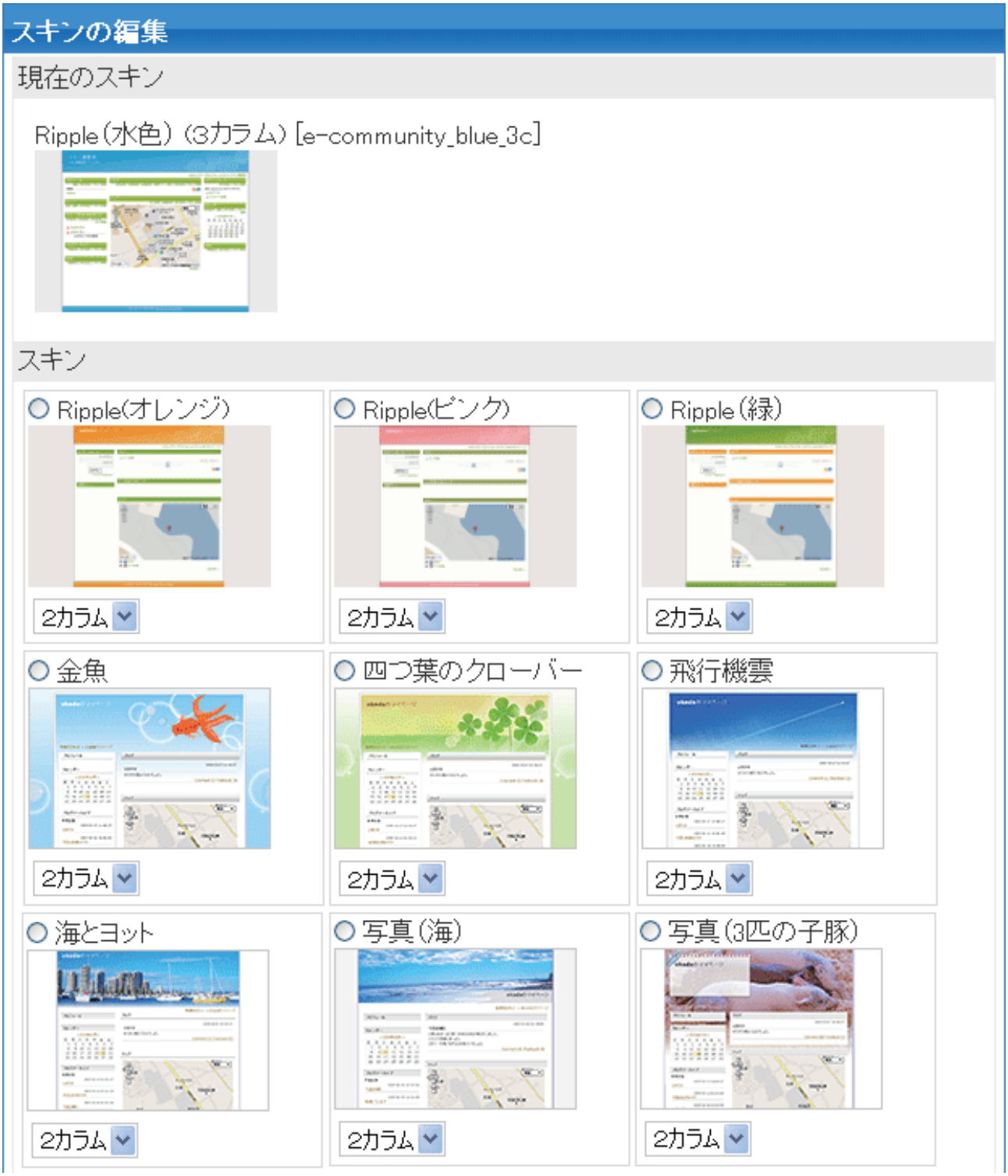
メッセージを受け取った人は、自分のマイページで受信したメッセージを読むことができ、送信者に返信することができます。

また、メール転送機能により、送られたメッセージをパソコンや携帯電話で受けとることもできます。



2 スキン変更機能

簡単な操作でスキン（ホームページのデザインテイストをテーマごとにまとめたもの）を変更して、ホームページの雰囲気をワンタッチで切り替えることができます。



ぜひ、いろいろスキンを切り替えて、自分の好みに合ったホームページを作ってみてください。

NIED 独立行政法人 防災科学技術研究所 災害リスク情報プラットフォーム 研究プロジェクト BOSAI-DRIP
ｅコミ 公式サイト・・・http://bosai-drip.jp/ecom-plat/
プロジェクト公式サイト（BOSAI-DRIP）・・・http://bosai-drip.jp/